

<PGI 学術講演抄録> ※無断転載を禁じます

## 3D プレゼンテーションが開く 歯科治療への動機づけ

### — 歯科医院の IT 化への一歩 —

Japan Craft. JPI 株式会社

重村 宏



今日、歯科治療の役割として噛むことの快適さや、口元の美しさの回復に重点が置かれてきていることに疑いの余地はありません。そのことを達成するために、インプラント治療や審美歯科治療があるといっても過言ではないと思う。つまり近未来の歯科治療には、夢と希望を提供できなければ治療が成立しない、ということもできるのではないのでしょうか。

現実の治療や補綴物の質の重要性はいうまでもないが、その内容を歯科医師が患者に、歯科技工士が歯科医師や患者に伝達する良好で強力な方法がなければ、我々は「ただ待つのみ」か「むやみに営業に回る」しかない。 といっても常に治療を鏡に映して見せるわけにもいかず、補綴物の実物を手にとって説明するわけにもいかない現実がある。そこで画像や映像を通して正確に丁寧に解りやすく説明され宣伝する方法が必要となるのである。現在では簡単な画像と文章を並べただけのホームページは普及している。しかし、新たな患者への動機づけとなると、いささか寂しい感があるのが現状ではある。比較的安価でなおかつ容易に 3D プレゼンテーションや動画ができれば臨床家の意思をダイナミックに伝達できるかもしれず、未来に歯科医院の IT 化をより充実できる一歩になるかもしれません。

1. プレゼンテーションの考えと効果
2. 3D プレゼンテーションソフト「プレジビジョン 2+フォーデンタル」の概要
3. ケースプレゼンテーション
4. J P I 研修会の現在

## 略歴

1978年 大阪歯科大学歯科技工士専門学校卒業  
1978年 新阪急ビル野口歯科勤務  
1984年 貴和会歯科診療所勤務  
1988年 JIADS 研修会講師  
1998年 Japan Prosthetic Dental Laboratory 開設  
2004年 筑波大学聾唖学校 非常勤講師  
2005年 東北大学歯学部 非常勤講師  
2005年 JPI (Japan Prosthetic Institute) 講師  
2007年 埼玉歯科技工士専門学校 非常勤講師  
2014年 Japan Craft. JPI 株式会社設立  
現在 日本顎咬合学会 指導歯科技工士 日本口腔インプラント学会 会員

## 主な論文

咬合に関する私たちの考えと臨床システム 補綴臨床 1987.11  
模型上と口腔内とでの誤差をいかに少なくしてゆくか. 「オクルージョンの実際」 歯科技工別冊  
1988.12  
補綴物におけるクラウンカントウア Q D T 1992.10~12  
インプラント上部構造におけるアクセスホールの処理 Q D T 1993.6~7  
遠心鑄造の可能性と限界 Q D T 1995.2  
インプラント上部構造における臨床的基準 Q D T 1995.3~4  
臨床的ろう付論 Q D T 1996.4~5  
クラウンブリッジにおける作業用模型 Q D T 1997.8~9  
インプラント・リテーニングシステム Q D T 1998.3~4  
現代の臨床補綴(共著) 1998 新版現代の臨床補綴(共著) 2006 クインテッセンス出版  
クラウンブリッジに優れた適合を達成するために Q D T YEAR BOOK 1999  
クラウンブリッジ プラクティカル・デンタルテクノロジー(監修) 2002.6 クインテッセンス出版  
新適合論 Q D T 2002.1~2  
高精度のオールセラミックスをめざして Q D T 2004.4  
適正下顎位 Q D T 2004.10~12  
顎機能不全症候群への対応 Q D T 2006.6~7  
Occlusion & Function への誘い ZERO 2007.11~2010.8  
新しいプロビジョナルレストレーションマテリアルの検証と術式 歯科技工 2010.5  
クラウンブリッジにおけるコバルトクロム合金の展開 歯科技工 2012.5~6  
コバルトクロム合金のクラウンブリッジ臨床への応用 補綴臨床 2014.3